



○14日間取得 ○従業員数10～29人

出生後いつ頃取得しましたか？

出生から2週間後に取得しました。

どのくらいの期間取得しましたか？

2週間です。

取得すると決めたきっかけを教えてください。

初めての子育てで妻一人では夫婦ともに不安があったからです。

取得前に準備したことを教えてください。

産後間もない時期に産婦人科での沐浴指導に参加。また、(取得前の)出生直後2週間においては、義父母のサポートの下、育児全般について学びました。

育休中はどのように過ごしましたか？

手伝えることは全て行い、できるだけ妻に負担をかけないように心掛けながら過ごしました。子どもと触れ合う時間を確保したうえで成長を感じることができ楽しかったです。

育休を取ったからこそできたことを教えてください。

夫婦間での育児に関する考え方を互いに再認識できた。また、母親(妻)への負担がどれだけ大きいかに身に染みて感じることができました。

育休中大変だったことを教えてください。

常に子どものことを考えて様々な準備を並行して行うことが大変でした。今では当たり前の感覚で行えるようになり、育休取得させて頂けた職場のおかげであると思っています。

職場復帰してみてどう感じましたか？

復帰前と変わらず接して下さり、献身的なサポートのおかげでスムーズに職場復帰できました。

全般を通して、これから育休取得を検討している男性に一言お願いします。

育休取得期間に関わらず、一度取得することで、自身が育休取得する男性に対する視点・妻への視点が良い方向に大きく変わると思うので是非とも取得すべきだと思います。

事業主から自社の男性育休取得の取組に関して一言お願いします。

男性の育児休業取得は、家庭だけでなく職場全体の意識改革にもつながる重要な取組と考えています。弊社では、取得しやすい雰囲気づくりと業務調整を進め、今後も男女問わず育児と仕事を両立できる職場づくりを推進していきます。



○14日間取得 ○従業員数10～29人

出生後いつ頃取得しましたか？

出産から約1か月後から取得しました。母子の生活リズムが少し落ち着いてきた頃で、サポートがより必要だと感じたタイミングでした。

どのくらいの期間取得しましたか？

14日間です。短い期間ですが、その分できることを全力でやろうと決めて過ごしました。

取得すると決めたきっかけを教えてください。

出産直後の妻の疲れを間近で見て、「今しかできないサポートがある」と感じたことがきっかけです。育児は母親だけのものではなく、家族全体のことだと強く思いました。

取得前に準備したことを教えてください。

職場には早めに相談し、引き継ぎ内容を整理しました。家庭では、必要なベビー用品や生活リズムを妻と一緒に確認し、できる家事を一通り練習しました。

育休中はどのように過ごしましたか？

昼夜の区別がない日々の中で、抱っこや沐浴、買い物、料理などを分担しました。赤ちゃんの泣き声一つひとつに意味があることを少しずつ理解していく時間でもありました。

育休を取ったからこそできたことを教えてください。

子どもの表情やしぐさの変化を間近で感じられたことです。仕事をしていたら見逃していたかもしれない小さな成長に気づけたのは、育休を取ったからこそでした。

育休中大変だったことを教えてください。

夜中の対応で寝不足が続いたこと、そして家事と育児を同時にこなす難しさです。ただ、その大変さの分だけ、家族の絆が強くなったように感じます。

職場復帰してみてどう感じましたか？

仕事のペースを取り戻すまでは少し時間がかかりましたが、以前よりも「限られた時間で集中する意識」が高まりました。家庭と仕事、どちらも支え合える環境の大切さを実感しました。

全般を通して、これから育休取得を検討している男性に一言お願いします。

「自分がいなくても何とかなる」ではなく、「自分が関わることで家族が変わる」という経験になります。迷う時間があるなら、その分だけ家族の時間に使ってほしいです。

事業主から自社の男性育休取得の取組に関して一言お願いします。

当社では、社員一人ひとりの家庭と仕事を両立し、安心して育児に参加できる環境づくりを進めています。男性の育児休業取得を積極的に推進し、誰もが働きやすい職場を目指しています。



○1か月取得
○従業員数100～200人

出生後いつ頃取得しましたか？

子どもが生まれた翌日から取得しました。

どのくらいの期間取得しましたか？

1か月間です。

取得すると決めたきっかけを教えてください。

2人目の出産だった事もあり、妻のサポート及び上の子のサポートをしたいと考えたからです。

取得前に準備したことを教えてください。

上司に早めに相談して取得日を決めました。家庭では家事の分担と上の子のサポート体制について妻と話し合いました。

育休中はどのように過ごしましたか？

主に授乳やオムツ替え、日中の上の子の保育園への送迎、家事全般を担当しました。

育休を取ったからこそできたことを教えてください。

生まれたての子どもの成長と上の子が一生懸命お世話しようとする姿を見て、成長を感じることが出来ました。

育休中大変だったことを教えてください。

家事と上の子のお世話の両立と朝保育園への送迎前に授乳が被るので忙しかったことです。

職場復帰してみてどう感じましたか？

職場の上司のサポートに感謝の気持ちを強く持ちました。また、一層育児と仕事の両立の大変さを実感しました。

全般を通して、これから育休取得を検討している男性に一言お願いします。

仕事の調整や引き継ぎ作業など大変かもしれませんが、育休取得をしないとわからないことも多くあります。ぜひ前向きに検討してほしいです。

事業主から自社の男性育休取得の取組に関して一言お願いします。

私たちは、仕事と家庭の両立を支え合える職場づくりを進めています。
育児は人生の大切な時間であり、男女を問わず安心してその時間を過ごせる環境を整えることが、これからの組織の成長にもつながります。
特に男性の育児休業取得は、家庭における役割分担の見直しだけでなく、職場全体の意識改革のきっかけにもなります。
「自分が休むことで、誰かが困るかもしれない」ではなく、「お互いに支え合える組織をつくるために取る休み」として、前向きに捉えてほしいと思います。
管理職の皆さんには、取得しやすい雰囲気づくりと、現場での柔軟な対応をお願いします。
全ての職員が安心して育児に関われる職場を、みんなでつくっていきましょう。